



「吉数の三、富士山の富、十二支のねずみの子。縁起の良い3つの言葉が重なっている社は、縁起のいいまちひたちなかにぴったりに今年で創業61年目、大畑代表取締役は笑顔で話します。社名のとおり、ケースを手掛ける三富子ケース。ケースの中に入るものは、指輪・ネックレス、勲章・表彰メダル、レンズ等の理化学機器などさまざま。中身に合わせた完全オーダーメイドや、既製品ではない大量生産というセミオーダーメイドなど、サイズ、色、素材、数量までお客様の要望に対応し、かつ迅速に製作できるのが強みです。木工から生地の裁断・張り、仕上げの組み立てまで、ケース作りの各工程を受け持つのが、三富子ケースの「ものづくり女子」たち。入社7年目の平井京子さんもその一人。内職で1年勤めてからパートになり、現在は正社員として、製造と商品開発を担当します。入社のかっけは「元々ものづくりが大好きで、求人を見かけてからずっと憧れていました。ここで働きたかった」とほほ笑みます。三富子ケースでは、働きやすい勤務時間の設定（午前9時〜午後3時50分）、休暇を取りやすい体制整備（業務の引き継ぎ・共有）県民の日はお休みなど、女性が安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいます。」「自身の到達にやりがいを感じながら、楽しく働けます。完成時の充実感は言葉にできません。チャレンジが好きなものづくり女子の皆さん、ぜひ内職から始めてみませんか？」

主役(中身)の魅力を引き立たせる名脇役に



働く暮らし

ひたちなかを

好きになる

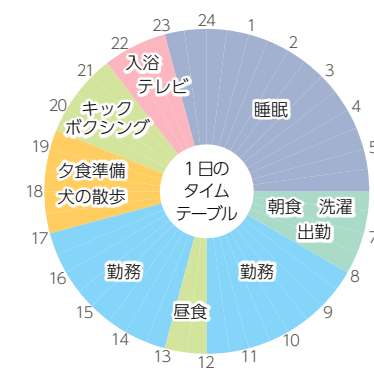
Vol.11

日本の産業を支える市内中小企業でいきいきと働く人たちを紹介いたします。

商品開発部
平井 京子 さん(47)
市内在住、埼玉県行田市出身。
平成26年入社。

取材協力企業
(株)三富子ケース
十三奉行 1940-2
☎ 263-3211

代表者：代表取締役 大畑 仁人
創業年：1960年11月（昭和35年）
資本金：1,000万円
売上高：5,000万円（2020年5月末実績）
従業員数（男/女）：9人（3人/6人）
平均年齢：47歳
月平均残業時間：約0時間
勤務時間：8:00～17:00（年間休日119日）
有給休暇の平均取得日数：20日/年



最近キックボクシングに熱中しています。運動不足やストレス解消にぴったりで、私は週2日1時間でエクササイズしています。

地元グルメでおすすめなのが「はるのや食品」です。名物の「さんまの甘露煮」がとにかく絶品。贈り物用に地元で贈ると、すごく喜ばれます。もちろん私も大好物。

他にも、まぐろの角煮や赤魚の煮物などもおすすめです。ぜひ一度、食べてみてください。



有限会社 はるのや食品

場所：八幡町5-8
営業時間：8:00～18:00
定休日：1月1日～3日
問合せ：263-0509